

- 農業懇談会から……………2~4
- 初午祭から……………5
- 各課から……………6
- 川柳北緯41°/合衆国視察記……………7
- 保健コーナー……………8
- 行事予定/み~つけた……………9
- けっばる蓬田人/戸籍の窓口……………10

広報

よもぎた



ボンボリにあかりをともして春よ来い!

3月  
1993

久し振りの太陽の下で働く  
おひな様はしまいましたか? 放哉  
遅く片づけると、娘がなかなかお嫁に行けないとか。「片づけられない」から「片づかない」というシヤレかな?  
若い娘のお祭の話から急に何だが、そのピチピチ娘もやがては年老いて行く。これはもういたしかたないことだ。しかし、わが村の高齢化は早い。ある推計では、平成十二年に六五才以上の人が全体の二四%になるといふ。四人に一人がお年よりという時代が、もうすぐやって来るのだ。  
ところで、若い人達と卓球を楽しんでいる九一歳の老女が、百才まで続けたいと言っていた。この人は七十過ぎてから卓球を始めたという。もちろんボケていない。  
そうだ、今からでも遅くない、私も皆も村も何かを始めなくては。ボケはこわい。

これからの

# 農業を考へる！



はじめに、坂本敏村農協生産販売課長から平成四年産農産物の出荷量、販売額等について次のとおり説明がありました。

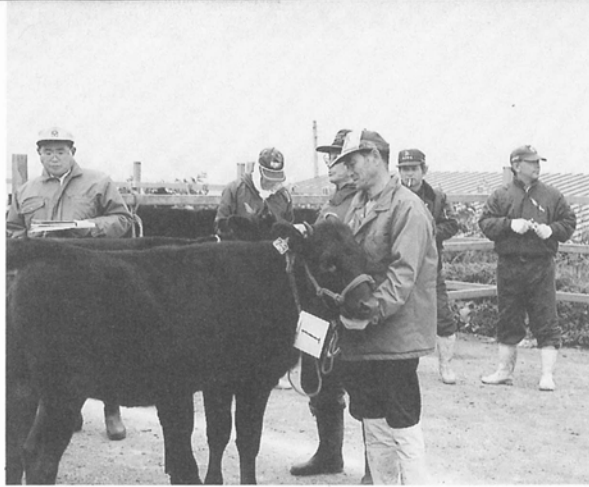
- ・総じて安値が続き、面積の伸びに対して販売額が落ち込んだ。
- ・トマトについては、価格の安いS、二Sが全体の四十三

一月二十六日、村農業経営者協議会、村構造政策推進協議会、村農業者就業機会拡大総合推進対策協議会が合同で主催する「蓬田村の農業を考へる」懇談会が開催されました。会場には、八戸良次郎村長、対馬義道県農業会議事務局局長、工藤文義農協組合長、青木久馬農業委員会会長をはじめ、農業関係者四十五名が出席し、「ゆたかな農業をめざして」活発な意見が交わされました。懇談会の様子を要約して掲載します。

なお、Q印は、村肉牛生産組合、村農協そ業生産組合の各部会からの要望、意見で、A印が、農協及び村からの応答です。



坂本敏村農協生産販売課長



%をしめ、他産地の単  
 価より低くなった。  
 ・キヌサヤについては、  
 価格が二割程度の落ち  
 込みと、生産量の落ち  
 込みで、昨年の四分の  
 三程度にとどまった。  
 ・ナメコについては、  
 安定しているが戸数が  
 減少している。  
 ・シイタケの生産者は、  
 戸数二戸と激減してい  
 る。  
 ・当帰については、平  
 成五年より農協が事務  
 局となり生産と販売を  
 推進していく。  
 ・ネギについては、初  
 めての作目であったが、  
 出荷の時期が遅かった  
 こともあり、部会員に  
 は気の毒に思っている。  
 今年は早めに播種し有  
 利に販売したい。  
 ・水稲では、「むつほ  
 まれ」が九十八%の作  
 付で、ライスセンター  
 の高率利用上、「ふ系一  
 一五九号」と「ふ系一  
 四三号」の取り組みを  
 していきたい。



### トマト部会



藤田 修一さん

**Q**、育苗施設の導入できない  
 か（六月中の出荷に間に合  
 わせるため初期の育苗）  
**A**、花キ部会からも出されて  
 おり、各部会でもっと、つ  
 めた計画作りが必要である。  
 尚、計画作りが終了後は、  
 最良の補助事業で対応した  
 い。  
**Q**、雇用安定を目指したい  
 （育苗から選果まで）  
**A**、前記の計画が実施された

段階で解決される。  
**Q**、集出荷予冷施設の拡充  
 （出荷量が年々増え、手狭  
 になった）  
**A**、行政、農協が一体となっ  
 て推進に向けて努力したい。  
**Q**、ハウス助成金を継続して  
 ほしい。  
**A**、五年度については、予算  
 に盛り込みたい。

### 花キ部会



藤本 富子さん

**Q**、後継者不足。  
**Q**、部会員の拡大を図る（蓬  
 田の特産とするためには、  
 ぜひ必要）  
**A**、冬場の所得源としては、

### ナメコ部会



若佐 秀雄さん

・やませの影響  
 ・収入に変動がありすぎる。  
 ・魅力がない。  
 ・投資がかかりすぎる。  
 ・需要品目がかわりすぎる。  
 ・病気になるやすい。  
**A**、花キは今後有望であり、  
 技術、販路等の問題を解決  
 すれば、後継者不足の解消  
 につながると思う。  
**Q**、育苗施設の導入（早期出  
 荷）  
**A**、各部会で、もっとつめた  
 計画作りが必要である。  
**Q**、球根の冷蔵保存施設の導  
 入（時期をずらして栽培で  
 きる）  
**A**、予冷施設を使うこともで  
 きるが、施設のどんなも  
 のなのか、検討を必要とす  
 る。

最適品であり、技術管理さえしっかりすれば、特産品として伸びていく。

### シイタケ部会



八戸 良幸さん

Q、原木等資材の高騰と部会員の拡大

A、原木不足による資材等の高騰が、部会員の減少につながっている。当村も遅れたが、平成三年からホタテの造林を実施しているところである。安く良い原木確保に向けて努力していきたい。(原木になるには二十年かかる)

### 当帰部会



藤田 尚政さん

Q、掘り取機等機械化による作業を望んでいる。また、乾燥施設が必要。

A、面的に機械までは行かないようである。反当たりの収穫量と粗収益の向上により面積がふえた時点で考える。

### そ菜生産組合



吉田 龍一さん

Q、輸送面の体制づくり(広域的輸送体制の導入)

A、早急に広域的輸送に向けて、話し合いをしていく。

Q、資材等の確保(ダンボールなど)

A、野菜の体制を把握しつつ、農家に不便をかけないようにしたい。

Q、温泉排水利用の育苗施設の導入。

A、トマト、花キに同じ。

### ネギ部会



山本 兼光さん

Q、播種時期等技術指導の徹底(現地指導も含む)

A、技術指導と播種時期に問題がある。また選別出荷体制の確立も急務である。

Q、育苗施設の導入

A、トマト、花キに同じ

### 肉牛生産組合



細谷 靖信さん

Q、市場性の高い精液の導入

A、実施していく考えです。

Q、母牛の育種化(肥育の継続)



A、村では、ある程度肥育を継続するつもりでいます。ただ育種化に向けた肥育は、関係機関と充分検討する必要があります。

Q、肥育牛舎の施設建設。

A、モデル畜舎の有効利用との関連もあるので、今後肥育部会と関係者で話し合い、良い方向に進めたい。

Q、村に百万円程度のよい牛を、三年間ぐらい継続して購入してもらいたい。

A、村としては、以前購入した経緯があり、その結果等ふまえ、財政的なこともあるので検討したい。



討論後、農林漁業金融公庫青森支店の森本さんから、八月に村内でアンケート調査した。蓬田村の担い手育成方向について、の分析結果について詳しい説明がありました。(調査の集計資料については農業委員会にあります)



# 勇壮に勇ましく！ 初午祭

二月六日(土)恒例の初午祭(出初式)が実施されました。午前八時四十五分、村内八分団、百五十五名が村農協米倉庫前に集合しました。

式は、殉職消防団員に対する黙祷から始まり、続いて検閲を受けました。その後、村議会議員ら来賓が見守る中、

高田副団長指揮のもと分列行進を実施。その後役場前へ移動。

役場前では、機械機具を点検の後、越田副団長より「雨も上がり、大地を踏み締め一糸乱れぬ分列行進、機敏さを発揮した機械機具の点検は見事であった。よって本日の初午祭りは良好であります」と講評があり、続いて吉田団長から「一年の無火



災を祈念する初午祭、諸君の訓練が遺憾なく発揮され立派に終了した事に感激している。

先輩から引き継いだ、いわゆる「玉松精神」を汚すことなく蓬田消防人として、住民の生命と財産を守り村民の期待に答えて行きたい」と訓示がありました。また、八戸村長より「国民を守ることに於いて、自衛隊、警察、消防がありますが、くれぐれも健康に留意しご精進下さい」とあいさつがありました。

来賓を代表して、清水村議会議長より「分列行進、機具点検、有事の際は万全を期して対処できると安心しました」と。

工藤蟹田警察署長より「警察と消防は車の両輪の如くで、今後も連携と絆を深めて行きたい」と、それぞれ祝辞がありました。

最後に、ポンプ自動車の村内パレードで防火を呼び掛け初午祭を終了しました。

## 赤十字奉仕団研修会

二月九日、村赤十字奉仕団研修会が中央公民館において開催されました。奉仕団員の意識の高揚と資



質の向上をはかり、地域社会の福祉向上に寄与する目的で開催しているもので、二十五名が参加しました。

研修会では、炊き出しの実習(専用のビニール袋に米と水を入れ輪ゴムで口を閉じておくと、ドロ水でも御飯が炊ける)の他、講話「赤十字の心の原則について」と、「日本の赤十字と組織運営について」がありました。その後、映画「国際救援最前線」が上映されました。

午後からは、救急法が行われ参加者は、真剣なまなざしで実技に取り組んでいました。



炊き出しの実習(1袋1合)



# 福はうち！ 鬼はそと！！



二月五日、ふれあいセンターにおいて、高齢者のみなさんと、保育所の子供達が、豆まきを楽しみました。

子供達全員であいさつすると、練習してきた遊戯を披露しました。一生懸命に演技する子供達に、高齢者の皆さんは目を細め盛んに拍手を送りました。

豆まきでは、高齢者のみなさんが面を付け鬼に扮してくれました。会場は「鬼は外、福は内」の声が響き渡りました。楽しい時間を過ごした子供たちは、元気に手を振りお別れしました。

## 和気あいあい パッチワーク教室



一月から週二回、中央公民館が開いているパッチワーク教室では、四十二名が参加し盛況に行なわれています。

パッチワークの魅力は、和布に綿を入れ針と糸で確かめる感触、針を通す時の、ふわっと生命が膨らんでくるような感触にあると教室生が話してくれました。

大集會室に裁縫箱を広げ、和気あいあいの雰囲気が開かれているパッチワークに参加してみようでしょう。

パッチワーク教室は、六月まで開催予定になっています。詳しいことは、中央公民館へお尋ねください。

## 老人保健法の医療制度とは

### お医者さんにかかるとき

市区町村に届け出ると、老人保健法によって「健康手帳」と「医療受給者証」が交付されます。お医者さんにかかるときは、この健康手帳と医療受給者証、それに医療保険の被保険者証(保険証)を窓口に表示してください。



#### ●あとから払い戻されるもの

次のような場合、医療機関に全額支払いますが、必要な書類を担当窓口申請すれば、老人保健法で定められた基準額について、払い戻しがうけられます。

申請書の用紙は、担当窓口に出してください。

- 急病でやむをえず保険証、健康手帳、医療受給者証をもたずに医師にかかったときの治療費。
- 医師が必要だと認めたコルセットなどの治療費。
- 医師が必要だと認めたマッサージ・あんま・きゅうなどの施術料。
- 骨折・ねんざで柔道整復師の施術を受けたときの費用。

(保険の取り扱いをしている柔道整復師で施術を受けた場合には、医療機関と同様に一部負担金を施術がうけられます。)

- 医師と保険者の両方が認めた付き添い看護料や移送のための費用。
- 輸血をしたときの生血代。

詳しくは役場民生課へ

外来	1か月	900円
		▶平成5・6年度は、1000円となります。
入院	1日	600円
		▶平成5・6年度は、700円となります。

※療養年金受給者で住民税非課税世帯は、1日300円を2か月間の制度で負担します。

## 平成5年度のスポーツ安全保険の加入受付

平成5年度のスポーツ安全保険の加入受付がはじまっています。この保険はスポーツ活動、文化活動、奉仕活動などの際の傷害事故や、第三者にあたえた損害を補償し、また心臓麻痺などの突然死に見舞金をお支払いして、グループの人達が安心して活動できるようにするためにつくられた営利を目的としない互助共済的な補償制度です。この保険は5人以上のグループで加入できます。みんなできひ加入しましょう。申し込みとお問い合わせは(財)スポーツ安全協会青森県支部

☎0177-82-6984

区分	スポーツ少年団などの中学生以下のグループ ・成人の文化活動、奉仕活動のグループ	老人クラブ団体 ゲートボール、ハイキングクラブなど	ママさんバレーなど地域スポーツのグループ ・高校、大学、会社などの同好会
掛金	400円	600円	1,300円
死亡後遺障害	最高 2,000万円	最高 500万円	最高 2,000万円
入院日額	4,000円	1,800円	4,000円
通院日額	1,500円	1,000円	1,500円
賠償責任	対人賠償 1人1億円 1事故5億円 対物賠償 500万円 (自己負担1,000円)		
共済見舞金	心臓マヒ等の突然死や日射病、熱射病による死亡100万円		

スポーツ安全保険に加入を！

# アメリカ合衆国視察記④

村長 八戸良次郎



スカイウェイ（空中遊歩道）

ざっと米国、カナダの視察状況を報告しましたが、英語（仮名文字）の名称などが多くて理解しにくい点もあつたと思います。折りにふれて断片的であるが、村民の皆様

に私の感じたこと、考え方を私に心からお礼を申し上げます。村民の皆様

生涯二度とできない勉強でありましたし、このことを村行政の推進に役立てて参りたいと考えています。多面にわたる視察でしたが、私の記録、資料などを参考に書いたつもりです。

視察の箇所は、ワシントン、バッファロー、シカゴ、ミネアポリス、セントポール、ブルーミングトン、サクラメント、サンフランシスコ等でありました。最初に書いたように、多民族と地域の広大さに只々驚くばかりということが最も印象的であり、心に残るその他のことを付け加えますと、アメリカにおける行政については、連邦政府は一七七六年に、存在していた十三の州により創設され、連邦政府が採用された時には、連邦政府に受権された以外の権限は州の為に保留されたという。現在五十の各州は、各地方の行政を組織し、各々の機関で各州の権限と責任を分担しています。この結果、地方行政構造は、州によって異なっております。

ミネアポリス市（北米）は市があり地方行政が行われている

ミネソタ州の一番大きな市です。市は一八五六年（明治以前十一年）に組織され、当時の最大産業は製材業である。製材所は、ミシシッピ川の滝の水力発電を利用し、後年、ミネアポリス市は、豊かな穀倉地帯を背景に世界一の大きな製粉所ができたという。今、この市域はアメリカ中西部北の金融機関の中心地となっております。人口約三十七万、隣りの州政府所在地、セントポールの市の人口は二十七万人でこの両市が双生児のように発達したことから、「双子都市（ツインシティ）」と呼ばれ両市が、周辺圏二百二十万人の中心軸となっております。

都市づくりの特徴として、三十kmにも及ぶ主なビルを結んでいるスカイウェイ（空中遊歩道）があります。窓ガラスに囲まれ温度調整のされているスカイウェイを通して、専門店、ホテル、レストラン等へ行き来することができうえに、交通事故対策にもなっております。

ミネソタ州には八百五十五の

議員により運営され、道路、水道、下水道システム、警察、消防、公立図書館、公園を管理しています。市によっては、公衆衛生サービスを提供する他、保健と安全のため住宅及び商業用不動産の検査をし、市における土地建物に税金を賦課し、州及び連邦政府からの資金を受け取ります。

郡は八十七あり、選出された委員により運営され、低所得者の社会福祉と生活について州の法律に基づき様々な援助を実施します。また、郡は郡道を管理し、裁判所を運営し、大きな市の公害における法治の責任を負っています。また市長は全市民により選ばれ任期は四年、議員は自分の区に住む住民により選ばれ任期四年です。行政の詳細はよく分かりませんが、市庁舎で二回、終日担当官から説明を受けたものであります。総じて、米国の行政を日本が見習ったのだろうかという感じであります。

（完）

・ 過疎に住む  
・ 遺層を  
・ 年明けて  
・ 過疎の村

・ 蟻も雀も  
・ 老婆と二人  
・ 子等皆かへり  
・ 追討ちかける  
・ 米自由化

・ 藤久  
・ 網枝  
・ 久子  
・ 榎吾

・ 雅子さん  
・ のんびりと  
・ 過疎の村  
・ お湯が出て  
・ 息ふき返す

# 健康ひとくちメモ

●カルシウムを十分とって丈夫な骨づくり



## 骨粗しょう症

骨粗しょう症は、骨からカルシウムが抜け出るため骨が薄くもろくなり、ちよつとしたことですぐ骨折してしまう病気で、高齢者、特に更年期以後の女性（とりわけ閉経後の女性）が多くかかり、六十歳をすぎると急激に増加してきます。症状としては、転んだ時に手首を骨折したり、背骨がつぶれて背中や腰が曲がつて身長が低くなったり、腰や背中の痛みが現われやすくなります。



左が工藤美智子保健婦、右が細谷昭子保健婦です

高齢者が寝たきりになる原因の第一は、脳卒中の後遺症ですが、その次に多いのは骨折です。したがって骨粗しょう症の予防は、寝たきりになるのを防ぐ意味も持っています。

- (1)カルシウムを十分とる  
カルシウムは牛乳・小魚・海藻などに多く含まれています。特に吸収がよいうえ、カルシウムの供給源として最も重要な食品は牛乳です。カルシウムの必要量は一日六〇〇mgですが、牛乳一本（二〇〇ml）に二〇〇mgのカルシウムが含まれていますので、一日三本飲めば必要量は充足できます。しかし、日本人の場合牛乳の嫌いな人が少なくありませんので、牛乳に代わる小魚などを積極的にとりましょう。
- (2)日光浴をする  
日光浴をすることで、カルシウムを養分としてとりこむビタミンDができます。ビタミンDは吸収を高めるほか骨をつくる上でも重要な役割を持っています。
- (3)運動をする  
適度な運動は血流をよくし骨の代謝を促します。運動するとカルシウムが骨について丈夫になります。

です。そのためには、若い時からカルシウムを多くとることと、運動によって骨を丈夫にしておくことが大切です。日常生活で注意してほしい点は次のとおり。

- (4)家の中でつまづかないよう工夫する。  
食事・運動・日光浴の他に大事なことはころばないよう

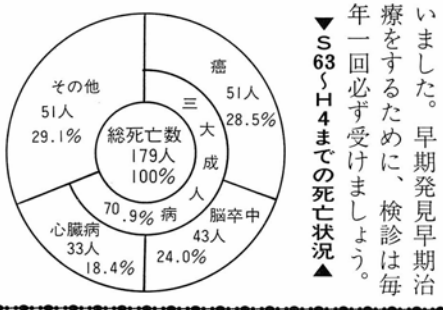
うにすることです。わずかな段差が転倒につながりますので、お年よりにやさしい住環境の工夫をしましょう。

## 家庭での骨折の予防



## わが村の死因のトップは、癌！

蓬田村では昭和六十三年から平成四年までの五年間に亡くなった方百七十九名のうち、癌でなくなった方は五十一名と死因のトップを、又長年村の健康問題であるアタリ（脳卒中）が四十三名、心臓病が三十三名と全死亡者中の成人病による死亡の七割を占めて





おじいちゃん

おばあちゃん

# ありがとう

二月十七日、今年度から小学校で始められた「生活科」の学習が、地域のおじいさんおばあさんを招いて行われました。

一年生の学習でしたが、とてもよい勉強」と、二年生、三年生も参加しました。お手玉、竹スキー、凧、縄など、

わら細工などの作り方、おはじきの遊び方。子供達はみんな目を輝かせ、一生懸命取り組みました。

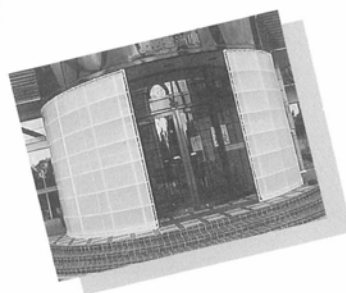
最後は昔話「しらみの裁判」を、子供達は興味深く聞き入っていました。

子供達には忘れられない一日となりました。



## 3月行事予定表

日	1月	3日	4日	6日	8日	11日	15日	16日	18日	20日	23日	26日	27日	29日
水	木	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
書道教室 13時～15時	人権相談 10時～15時	家庭看護法研修会 9時～(中央公民館)	パッチワーク教室 18時30分	書道教室 13時～15時	成分献血 10時～16時(村役場)	書道教室 13時～15時	中学校卒業式	県立高校合格発表	パッチワーク教室 18時30分	小学校卒業式	小学校卒業式	小・中学校終了式	小・中学校学年末休業	書道教室 13時30分～15時
中央公民館	民生課	民生課	中央公民館	中央公民館	民生課	中央公民館	中学校	中央公民館	中央公民館	小学校	小学校	小・中学校	小・中学校	中央公民館



ふれあいセンターよもぎ温泉の玄関に雪囲いが取り付けられました。よもぎ温泉玄関の自動ドアは大変珍しい曲面で、円を描いて開閉します。この雪囲いは冬期間直接ガラスに吹き付ける雪からドアを守るためのものです。

みくつけた  
60

